

事務事業名 障害者支援の地域福祉活動助成事業

出力日：令和04年03月15日

キーコード：157

施策：	11	障がい者福祉の充実	財務コード	01030101-07-00
基本事業：	03	社会参加の促進と就労支援	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	自立支援給付（訓練等給付）の利用者数 音声・言語、聴覚障がい者の手話通訳派遣回数		担当課	生活福祉課
			担当係	地域福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成16年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
障がい者支援の福祉活動を行う者（団体又は個人）			市内において、障がい者支援の福祉活動を行う者に対して、活動の場の確保を目的として賃貸借契約による借家は5万円を限度として家賃の半額を、敷金については10万円を限度として半額の助成を行う。 「筑紫野市障害者支援の福祉活動支援事業実施要綱」に基づく事業である。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【助成の流れ】 申請書提出 申請内容確認 助成金交付 実績報告						
市内において、障がい者支援の福祉活動を行う団体又は個人を財政面で支援することで、障がい者の社会参加を促進する各種事業を安定的に実施することができる。			【令和2年度助成団体、及び助成金額】 ・手作り工房 紫陽花（年額18,000円） 令和2年7月まで ・どろっぶず（年額354,000円） ・音楽ランド（年額47,184円） ・筑紫野市「障害」児・者問題を考える会（年額480,000円）						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	01年度 実績	02年度 実績	03年度 当初	04年度 要求	05年度 計画	06年度 計画	目標
助成団体の支援障がい者数		人	65	71	80	80			100
5. コスト									
事業費		計	千円	1,211	953	882	892		
		国	千円		0	0	0		
		県	千円		0	0	0		
		地方債	千円		0	0	0		
		その他	千円		0	0	0		
一般	千円	1,211	953	882	892				
正職員人工数		人工	0.03	0.03	0.03				
正職員人件費		千円	242	241	238				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	1,453	1,194	1,120	892			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	支援障がい者数は平成29年度の86人に対し令和2年度は71人と減少している。各団体の主な取り組み内容は、 ・紫陽花：聴力障がい者の布製品の作成、販売活動、交流会など（70日縫製作業、延べ289人が作業した） ・どろっぶず：障がい者のものづくり、バザ-活動、交流会など ・音楽ランド：知的障がいの理解を得るための音楽活動（新型コロナウイルス感染症のため個人レッスンがメイン）								
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）	・筑紫野市「障害」児・者問題を考える会：学校との情報交換会、学習会や交流会を通して、地域住民に対して「障害」児・者の人権や社会参加などの啓発活動を行うというもので、障がい者の社会参加につながっている。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
筑紫野市障がい者福祉長期行動計画の施策である「雇用・就労の促進」を実現するため、一般企業への就労が困難な障がい者が通う福祉的就労の場としての拠点支援のために、「筑紫野市障害者支援の福祉活動支援事業実施要綱」を平成16年に定め、福祉活動を推進する団体及び個人の家賃等の一部を助成している。			備考・特記事項 or 進行管理欄 平成25年4月施行の障害者総合支援法により、障がい者の社会参加の促進が以前にも増して求められている。						